

議会 ICT 推進委員会会議録（要点筆記）

令和6年8月9日（金）

午後1時40分 開会

場所 議会会議室

○山田清一委員長

ただ今から、議会 ICT 推進委員会を開催します。

協議題1. 議会における手続き等のオンライン化・デジタル化についての、（1）陳情の手続きのオンライン化についてを議題とします。

○山田清一委員長

先日の委員会では、オンラインによる陳情の提出の可否についてご協議いただく中で、「請願の手続きにぴったりサービスを導入するのであれば、陳情も同じようにぴったりサービスから手続きができるようにすべきではないか」、そして「オンラインからの陳情の申請は、意見陳述を行う方のみ審査の対象とするなど、条件を付けて運用してはどうか」などのご意見をいただきました。

皆さまからのご意見を踏まえて、正副委員長としましては、陳情の申請は、この機会に請願と同じようにぴったりサービスから申請ができる運用とし、ぴったりサービス及び窓口提出により申請のあった陳情は全て、委員会審査の対象としたいと考えましたので、皆さまにお諮りしたいと思います。

このような考えに至った経緯は、ぴったりサービスから陳情の申請手続き行っている議会に問合せたところ、受付の条件は設けていないとのことと、ぴったりサービスからの申請はまだ無いとのことでした。このことから、運用していく中で、陳情の申請が急に増えて委員会審査の負担が増えたなどの課題が出てきたら、運用の仕方を見直していきたいと考えますが、いかがでしょうか。

○石川英之委員

今までは、メールと郵送については議長預かりとし審査を行っていなかったもののうち、オンライン化することにより、提出件数が増える可能性があることが考えられます。委員会審査については、例えば意見陳述をされる方に限って行うこととするなど、条件を設けてはどうでしょうか。

○中村和也委員

陳情のオンライン化については賛成ですが、運用については、始めは半田市民からのオンラインによる申請は審査の対象とするなど、審査対象となる条件を設けておき、徐々に審査対象を広げていく方が良いのではと考えます。

○國弘秀之委員

ぴったりサービスを通じてどれくらい陳情が出てくるかが分からない状況のため、始めは間口を広げすぎず絞っておく方が良いと考えます。

○山田清一委員長

オンライン化は利便性を向上させるためのものですので、繰り返しになりますが、始めから条件を設けてしまうより、まずは全てを受け入れ、間口を広げた運用してみて課題が出てきたら見直すのが公平な対応かと思います。

皆さまのご意見を伺いまして、まだ結果を出すことは難しいと感じましたので、もう一度

会派へ持ち帰っていただきたいと思います。会派で協議いただく時のポイントとして、オンライン化については、間違いなくこれから全国的に標準的なことになってくることを頭において検討してきてください。

このことについて、他にご発言ありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終わります。

○山田清一委員長

次に、(2)その他につてを行います。

何かご発言ありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終わります。

○山田清一委員長

次に協議題2. オンライン委員会システムの操作確認などについての(1) オンライン委員会についてを議題とします。

「半田市議会オンラインによる委員会開催に関する実施要綱案」やオンライン委員会に係る委員会条例など、検討すべき事が沢山ありますが、まずは、我々が、オンライン委員会の様子を知り、その課題の洗い出しを行ってから要綱等の協議に入っていきたいと思います。

そこで、今から、オンライン会議の模擬体験をしたいと思います。本日、うまくできれば、次回以降は本格的にオンライン会議システムを使って委員会を開催したいと思いますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

それでは、委員の皆さまにはこれから打合せ室1、2、全員協議会室へ移動いただき、資料1にあります、Webex オンライン会議の参加方法に従い、会議に参加してください。

しばらく休憩します。

午後2時00分 休憩

午後2時06分 再開

○山田清一委員長

皆さまのオンライン会議の参加状況が確認できましたので、会議を再開します。

資料1を参考にオンライン会議に参加いただきましたが、マニュアルの指示で何か困ったことまた、オンライン会議で気を付けるべきことなど、思いつく範囲で結構ですので、何かありましたらお願いします。

○石川英之委員

委員が発言する時の声が聞こえていない場合があるので、確認が必要です。

○山本裕介副委員長

採決の時も含めて、音声が届かないことも想定できるので、意思表示の方法を決めておくことは必要だと思います。チャット機能を使い、文字で伝える方法を取ればより効果的だと思います。

○山田清一委員長

オンライン会議なので、チャット機能は使わない方法を優先したいと思います。音声確認は会議を開会する前に行い、意思表示は賛成の場合は画面に丸を、反対の場合は画面にバツ

を手や腕で示して映すのはいかがでしょうか。

○中村和也委員

発言する際に、同時に複数人の委員が手を挙げた場合の対応はどうしますか。

○山田清一委員長

まずは、発言をしたい委員は画面に手のひらをかざして、発言の意志を委員長に伝えるのはいかがでしょうか。委員長は順番に指名を行い、指名された委員は、マイクのミュートを解除して発言するのがスムーズかと思います。

○中村和也委員

タブレット1台でオンライン会議を行う場合、会議の画面と資料の画面を同時に開くことができるのか確認する必要があると思います。また、オンライン会議の画面上で資料の共有ができるのかも確認できたらと思います。

○山田清一委員長

発言方法や資料の共有方法など課題があることが分かりました。運用方法については、次の委員会でも検証していきたいと思います。

委員の皆さまから、他に何かご発言がありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終わります。

○山田清一委員長

次に、協議題3. その他を行います。

委員の皆さまから、何かご発言がありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、以上で議会 ICT 委員会を閉会します。

午後2時25分 閉会